

V106a **CMB 偏光観測衛星 LiteBIRD における系統誤差の研究 VI**

西城邦俊、松村知岳 (JAXA) 鈴木有春、堀泰斗 (UC Berkeley/LBNL) 石野宏和 (岡山大) 永田竜、羽澄昌史、服部香里 (KEK) 菅井肇 (Kavli IPMU) 関本裕太郎 (国立天文台) ほか LiteBIRD working group

数百億光年に及ぶ波長を持った原始重力波の存在はインフレーション理論に通有の予言であり、その波の強度は「何時インフレーションが起こったか」の指標である。マイクロ波背景輻射偏光観測衛星 LiteBIRD は、偏光地図の奇パリティ成分に刻印された原始重力波の信号検出を目指して現在進行中の計画である。

原始重力波に由来する偏光信号は、既に観測で確認されている密度揺らぎ由来の偏光成分に比較して極めて微弱な信号であると考えられており、その検出に向けた取り組みにおいては、高感度の装置を開発するだけでなく、徹底した系統誤差の理解と克服が必要不可欠な要素である。今回の講演では、ワーキンググループによる系統誤差評価の現状報告を行う。